

おたまじくしから

じんこうエサだけで

いまたコオロギを
たべられ るまで

カエルをそだてられるか

たかえまひろ

もくじ

きかけ... 2

しいくほうほう... 3

あたまじやくしのエサ... 5

カイルのエサ... 6

かんまつ... 7

けつが... 13

かんそう... 14

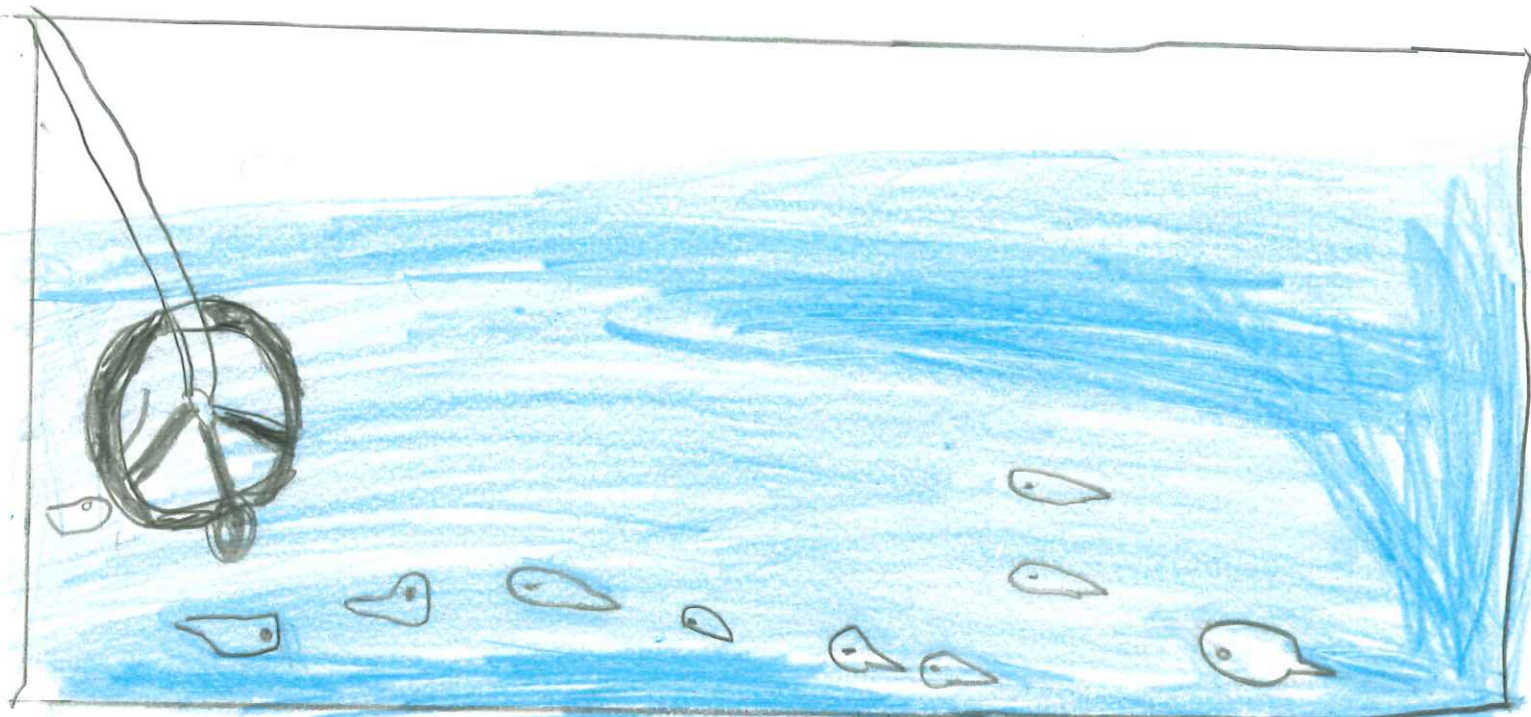
さんこうにした本... 15

まっか

きょねん、おたまじゃくしから
カエルになるまでをしいくした。
ことは、おたまじゃくしから
カエルになったばかりのカエルに
エサをあたえて小さなごんちゅうを
たべるまでいくしたいとおもた
がら。

しいく ほうほう

・おたまじゃくしの子



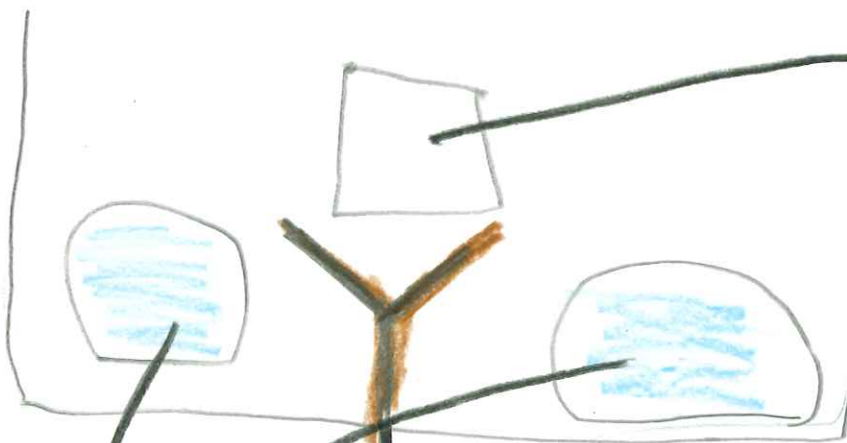
おたまじゃくしはあよぎがうずでは
ないためバブルガードリソワの
あるめたかのようなきがいをつかて
さんそをおくりこんた。水そうのな
かの水は水どう水をバケツにいれ、
カルキぬきのくすりをいれてえんそを
ちゅうわした水をつがた。
2日に1かい水をかえた。

- まえあしがはえて じょうりくしそうになつたとき



じょうりくもやすいようにすなをななめにした。

- カエルになつたとき



せけん
ケースを
あしはに

カエルのやすみばはりょうぼく
タッパーに氷をいれる。



もりふもで、あす・タ しつどちう

せけん

おたまいくしのエサ

おたまいくしがそうしょくで、ういて
けるえさより、就でいるエサを

たべるため、

「ひかりクレストアレゴ

ていそうそうしょくさかなのエサ」を
10ぴきに2〜3つふいた。



みどいいろ

のクシキミナエサ

カエルになったばかりのカ
エルのエサ

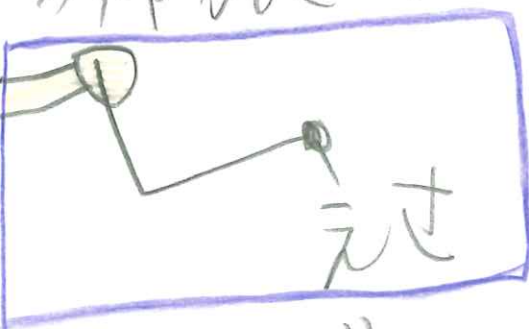
カエルはうごくものをエ
サとしてたべる。うごいているよう
にみえるから、こうエサをつくら。

「ひかりクレストカーニバル

にくしゅくよう」4つがと

「マ ルベリー カルツウムパウダー」

ふぎの スプーン はんぶんを水に
ふやかしてねりえ せにした。

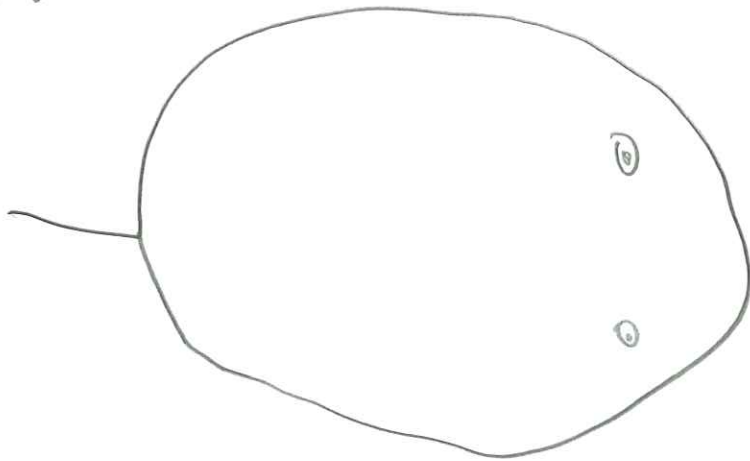


はりかねのさきにねりエサ
をつけてあたえた。

はりかねをまがて、水 そうの中にい
れ やよくした。ふふふはりかねをふる
ことで うごくエサにみたてた。
あさと夕に あたえた。

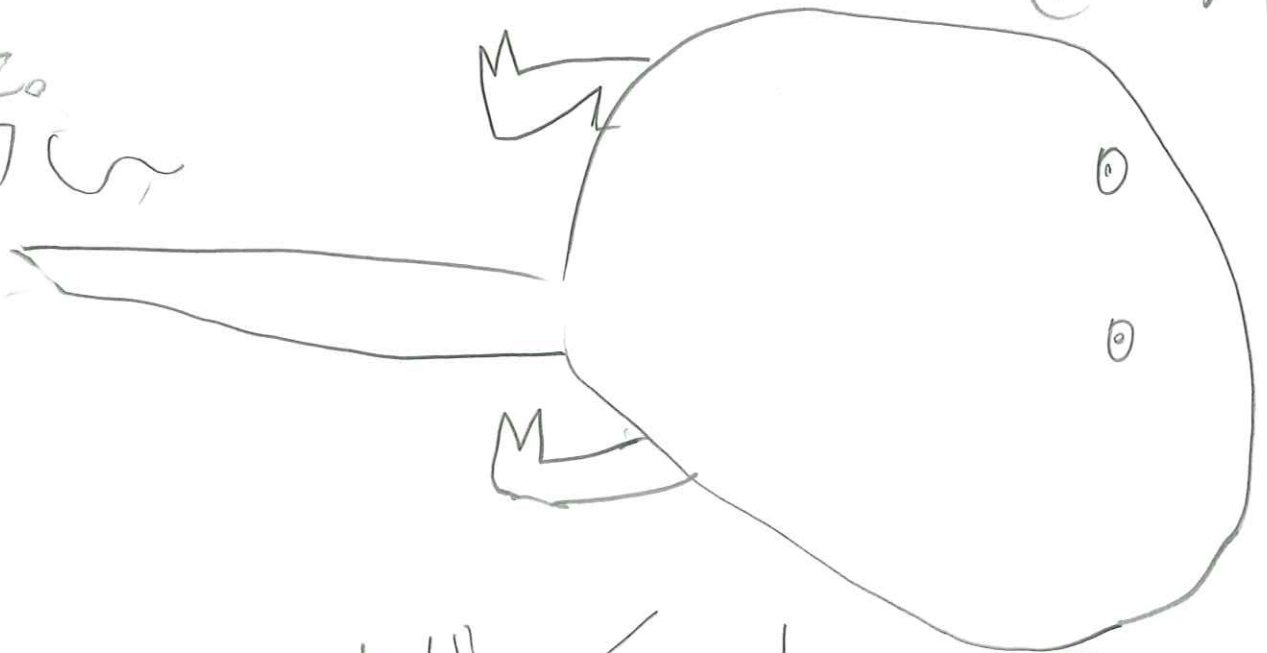
かんまつ

4/6



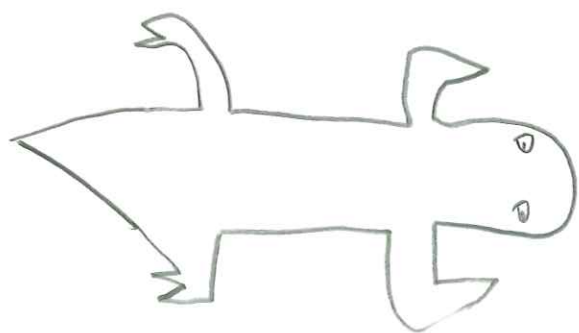
おたまじゃくしを10匹まっかまえ

たこ
6/17



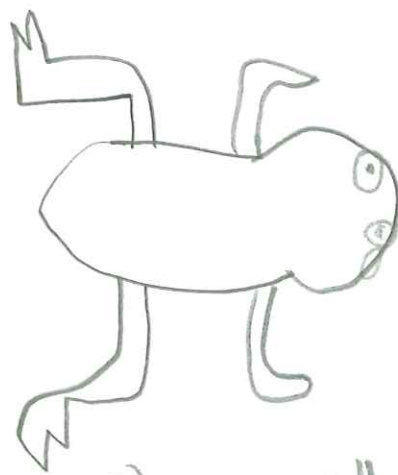
おたまじゃくしに足がは
えてきた。

6/24 ~

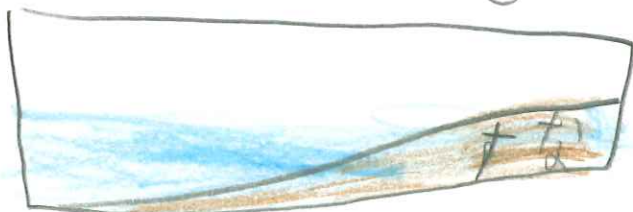


手がでてきた。

6/27 ~



おたかみじかくなってきた。
た。2ひきじょうりくいた。



べっのすいそうていしいくかい。

7/2 7 ひきじょうりく。
3 ひきみじょうりく。
10 ひき すべておまがえるだった。

7/3 じんこうエサをカエル
にあたえはじめた。

4、5 にちは たべなかつた。

7/8 大きいカエルがエサをたべた。

7/10 10 ひき 中 9 ひきは、はりか
ねのすきにつけたじんこう
エサをたべるようになった。

7/15 1 ひき 水そうからいなくなってきた。
ともぐりが、こけだしたかわからない。

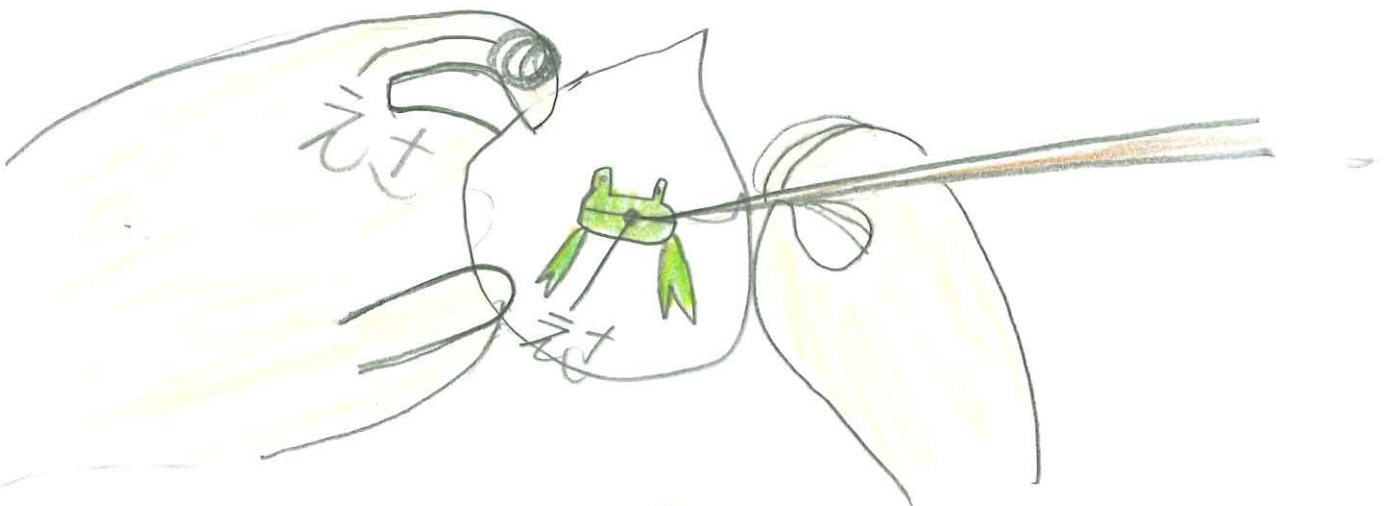
7/16

1ピ キタゴ いたし いく
を するこにいた。

イ本 が 1は かんや しく、じんこう
エサを たべ ないため

しんで まうかのう せい が えて
また たら。かんそう と人の たい お
んで やけど しないように

フットンペーパーで カエル を はさみ
きう せいで き に た けくしに じん
こう エサを つけて あた えた。



7/28 いくしていたカイル
とい

もはり がぬについた
エサ をたべ られ ところ
でも でき た。まだ小さい
か らもう世いで き にエサ
を あたえている。

7/29~8/26 あふタ、いんこうエサを
あたえあげた。

8/27

ヨーロッパ イエ コ オロギ¹5 サイ
ズをカエル に あたえた。

1本が大まか カエルは、ラフラにバ
クリとたべた。 

8/28 きょうも コ オロギ¹を あたえた。
いまかのカエルも コ オロギ¹をね
らてたべた。

8/29 いまた コ オロギ¹を エサとして
たべるようになった。

8/30 コ オロギ¹をややて、ふたたみ
ね リエサを あたえてみた。

「ままで」と おりたべた。

【け、か】

おたまじゃくしが、じんこうエサたい
けで いもたコオロギ¹をたべ
られるまで カエルをそだてた。
おたまじゃくしの本いたいに

たくさん エサ をたべてお
おきな²の本のカエルにそだっ
たカエルは、はじめの コオロギ¹の
エサもすぐ³にたべることが
できた。このフラの大おきな²のカ
エルは、コオロギ¹になれれ
ば⁴たべられるようになった。

かんそう

おたまじゃくし^のときにしかり
サをあたえてあまきくそた
エてることがじんこうエサで
もけんきにそたつ
カエルになるとおもった。
いまているコオロギ^をパクツとたべ
るしゃんかんが見れてたのだった。
そたてこいるあいたカエルは、
いかいもなかなかった。
カエルのなくタイミングは、
いつな^のかきになった。

さんこうにいた本

『たのしいカ××ダカオタマジャク
シ・サリガニ・ヤトカリ』

文・写真 | 山崎浩二

発行者／村松邦彦
発行所／株式会社主婦の友社

10ぴきのカエルが
うさぎとて
ありがとう。

